

# レンコン産地への支援

## ねらい

県内で栽培されているレンコンの主な品種は「備中」種で、品質がよく、市場の評価が高い反面、レンコン腐敗病に弱い。また、晩生種であることから、レンコンが肥大する前に台風が襲来すると地上部が傷み、収量や品質が低下するため問題となっています。

そこで、これら課題の解決を目的に育成した新品種「阿波白秀」を普及することにより課題解決をめざします。

## 活動地域・対象

地域：鳴門市、松茂町、徳島市、藍住町、板野町、北島町

対象：レンコン栽培農家

## 普及活動の目標

### 1 阿波白秀の種苗供給体制の確立と現地への普及

- ・新品種導入モデル農家の育成 50戸育成（H31）
- ・新品種供給農家 7戸育成（H31）

参考：新品種の普及計画 7ha（H31），56ha（H34）

## 目標に向けた活動概要

### 1 新品種の栽培実証ほの設置

農業者の方に、新品種「阿波白秀」の栽培特性を知っていただくことを目的に、実証展示のためのほ場を2カ所（鳴門市大麻町、徳島市川内町）設置しました。



図1 新品栽培ほ場の様子

### 2 新品種の周知活動

平成29年度に配布した種苗は、すべて増殖用に仕向けられることから市場評価は得られません。このため代替として生育状況調査結果を行い、栽培講習会や出荷協議会の機会を活用して、阿波白秀の品種特性等についての周知を行いました。



図2 栽培研修会での特性紹介

### 3 新品種の安定供給体制の確立

新品種の普及を推進するためには、種苗を安定供給できる体制の整備が重要となります。

そこで、関係機関、JAによる担当者会を随時開催し、生産供給計画を策定するとともに、新品種の増殖のための原種生産ほ候補地を選定、農業者と原種生産についての協議を行いました。



図3 れんこん担当者会の開催

## 普及活動の成果

### 【新品種の栽培面積】

平成29年度の新品種「阿波白秀」については、23農家・団体が97a（農業者配布72a、原種ほ25a）で栽培が行われました。

実証展示ほの見学会等により、作付け希望者が増加した。  
（平成30年度種苗提供希望者：31名）



図4 出荷を待つ種たれんこん

### 【原種ほの確保】

混種の可能性が低く、適切な管理が可能な圃場を大麻町内に25a確保しました。

このことにより、種苗の現地生産見込量は2,000kgとなりました。

### 【安定供給体制】

担当者会を随時開催し、生産供給計画を策定、農業者に対し平成30年度の要望調査を行った結果、供給見込み2,500kg（農研：500kg，現地：2,000kg）に対し要望が3,560kgありました。うち、2,560kgを配布することで調整しました。

なお残り1,000kgについては、収穫量に余剰があれば配布することになりました。

この結果、平成30年度の作付面積は、自家増殖分と併せて6～7haと見込まれます。

（自家増殖：72a→3.6ha，新規種苗配布2.5～3.5ha）

### 用語説明

レンコン腐敗病：レンコンの地下茎が褐変、腐敗する病気で、被害の大きいほ場では収穫ができなくなることもある。

台風被害：6月末～8月中旬に強風が吹くと、葉が大きく傷つき、大幅な減収となる。特7月中に来襲があった場合は被害は甚大で、収量が平年作の6割～7割になることもある。

## 今後の発展方向

新品種のさらなる普及拡大のため、あらゆる活用し、品種特性等の周知活動を進めます。  
安定した種苗生産のため、IBJA単位を基本とし、原種ほ場の確保を推進します。  
新品種の特性に合った栽培管理方法を検討します。

## 関係者からの声

生産者：既存早生品種（ロータス・オオジロ）に比べて収量が多いなら、品種を切り替えていきたい。

市場評価が高く、腐敗病に強ければ「備中」から切替わるかも知れない。

新品種にあった栽培管理方法があれば知りたい。

## 高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922